



新年度のご挨拶

目黒区長 青木 英二様

社会福祉法人もえぎの会の皆様には、日頃から目黒区の障害福祉行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。もえぎの会広報誌「萌木」のご発行に際し、一言ご挨拶を申し上げます。

もえぎの会は、長年にわたって障害者への支援活動を続けられ、目黒区の障害福祉の発展に多大なる貢献をされてこられました。また、近年では、より広い支援の基盤づくりに向けた後援会の設立、グループホーム「沙羅の家」の開設など、将来を見据えて次々に事業展開されているとお聞きし、その積極的な取り組み姿勢に敬服いたしております。

さて昨年は、障害者自立支援法の施行により、障害福祉を取り巻く状況が大きく変化しました。規制緩和等により新たな取り組みが行いやすくなった一方で、定率負担制度や施設利用の日割り制などが導入され、現在でも様々なご意見が寄せられているところです。国は、皆様からの様々な意見に丁寧に対応するため、昨年末に、利用者負担のさらなる軽減や事業者に対する激変緩和措置など3つの柱からなるもう一段の改善策を発表いたしました。

区は、この改善策への対応を含め、平成19年度を法の柱である「地域生活への移行」「一般就労への移行」の取り組みを展開する年と位置付け、新たに策定しました障害福祉計画に基づいて、サービスの充実と基盤の整備に向けさらに取り組みを強化してまいりたいと存じます。そのためには、もえぎの会をはじめとする事業者、障害者団体、地域住民、関係機関等と区行政が、これまで以上に連携・協力を深めつつ障害者支援に取り組むことが大切です。区といたしましては、これまで以上に障害福祉の拡充に向けて取り組んでまいりますので、どうか今後とも皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

最後に、目黒区における障害福祉の中核法人として、もえぎの会の活動がますます発展されることをご期待申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。



2007年度「もえぎの会」の計画

3月13日に、評議員会、理事会が開催され、2007年度の事業計画、予算が審議され、承認されましたので、概要を報告します。

1. 事業計画

(1) 重点課題

- ① 新体制2年目を迎え、サービスの向上を目指し、新事業の担い手となる人材を育成する。
- ② 障害者自立支援法に対応するために、新体系移行検討委員会を設置する。
- ③ 行政や関係団体、区内の事業者と連携し、総合的な支援を提供する。
- ④ 後援会、家族会と連携し、地域に根ざし、地域に貢献できるような活動をする。

(2) 「沙羅の家」事業計画

- ① 利用者を定員の6名にする。
- ② 6名利用で安定した運営体制にする。

(3) 「しいの実社」事業計画

- ① 自立支援法に対応できる運営を目指し、常に社員(利用者)のニーズを取入れ、随時サービスを構築する。よりよい支援をするために担当制を導入する。
- ② 土曜日開所を工夫し、仕事以外に、余暇活動に充当する。その中で、地域とのつながりを深めるために、地域のお店、施設を利用する企画をする。
- ③ 授産事業の売上目標を2,000万円とする。(前年比約10%増)
 - 委託業務を、事務補助、軽作業などへ拡大すべく、開拓する。
 - 贈答セットの充実、チラシの活用、店内装飾、ネット受注などの工夫をする。
 - 後援会と連携して、販売先の開拓をする。
- ⑤ 働く意欲をもつ社員には、後援会や地域の協力を得て、実習に挑戦する。目黒区就労支援センターやハローワーク、区内授産施設等と協力して進める。
- ⑥ 障害者が、地域で生活するために、地域活動への参加、ボランティア受入れ、イベントへの出店、しいの実祭の開催を実行する。
- ⑦ サービスの向上に向けて、第三者評価を実施する。そのために、記録の整備、業務マニュアルの改善を推進する。

	法人合計			本部			しいの実社			沙羅の家		
	2007	2006	2005	2007	2006	2005	2007	2006	2005	2007	2006	2005
	予算	予算	実績	予算	予算	実績	予算	予算	実績	予算	予算	実績
授産事業収入	20,350	17,650	16,388				20,350	17,650	16,388			
授産事業支出	20,350	17,648	15,192				20,350	17,648	15,192			
授産事業収支	0	2	1,196				0	2	1,196			
福祉事業収入	118,147	98,145	105,889	2,500	2,100	170	93,487	87,994	103,719	22,160	8,051	2,000
福祉事業支出	100,275	98,409	91,219	2,460	1,955	1,641	84,205	83,832	87,742	13,610	12,622	1,836
福祉事業収支	17,872	-264	14,670	40	145	(1,471)	9,282	4,162	15,977	8,550	-4,571	164

第5回しいの実祭のご報告

去る11月25日(土)にしいの実社に於いて、「第5回しいの実祭」が開催されました。前日までは天候が危ぶまれましたが、当日は天気にも恵まれ、青木目黒区長をはじめ、多くの来賓にもお来いただきました。

今回はいままで以上に地域の方の来場が多く、これもしいの実社が一段と地域の中で認識されてきたことの表れではないかと思えます。

祭には、地元清水町会の皆さんに焼きそばやフランクフルトの模擬店を出店していただいたり、でかばっぐ・東京体育専門学校の方に、人形劇やしいの実社で普段行っていた「すわろびくす(イスに座って音楽にあわせてのエクササイズ)」などをご披露いただきました。

また、後援会の方々よりご寄付いただきました品々により、駐車場においてバザーを開催させていただき、売上をしいの実社に寄付いただきました。

ご来場を頂きました来賓の方々をはじめ地域の方々、各イベントお手伝いいただいたボランティアの方々にこの場をお借りしてお礼申し上げます。



当日は多くの来場者でにぎわいました



祭が一段落しておたのしみの打ち上げ



青木区長とのツーショット

織物セール

1月27日(土)、28日(日)に、しいの実社1階のSHOP、手づくりのお店で『手織り製品冬物SALE』を行ないました。しいの実社のお店を土日に営業したこと、織物とクラフトの製品だけを並べて営業したこと、織物製品のセールを行なったこと、すべてはじめての試みでした。

なるべく多くのお客様に来ていただくために、区の掲示板にポスターを貼らせていただいたり、チラシの掲示や配布をさせて頂いたり、各販売やお店でチラシの配布を行なったりの宣伝活動も行ないました。

両日とも天候に恵まれ2日間で来客者数は約150人、売上は約47万円でした。販売に参加した社員(しいの実社の利用者のこと)からは「楽しかった」「買って来て良かったあと思った」「大変だけどがんばった」と感想を語ってくれました。

地域の皆様や後援会の皆様との交流の場になり、社員には、やりがいや励みになりました。その結果として、お客様に喜んでいただいたことで、また、がんばろうとみんなで誓いました。



